

簡易密閉形〔高防水機能付〕インターロッキングブロック用 充填深さ70・73mm

MTIB-Lシリーズ ステンレス目地

MTIB-20SL T-20ランクC T-25ランクC

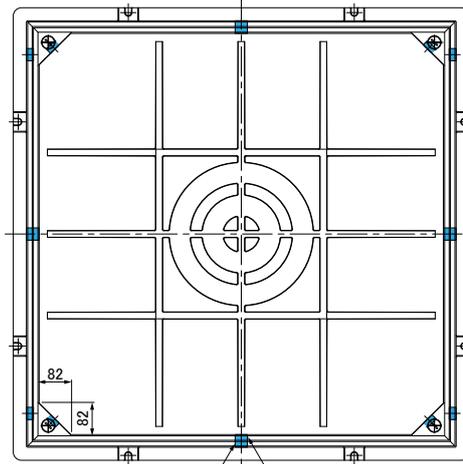
- 質量
1組質量:222.2kg
仕上材充填蓋質量:約295.8kg



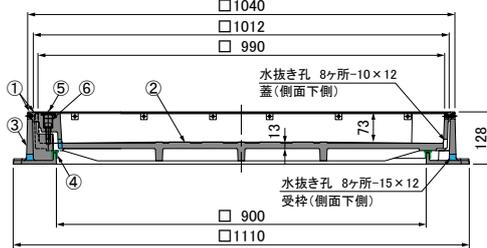
●部品表(ステンレス目地)

No.	部品名	材質	備考
①	ステンレス目地	SUS304	—
②	カバー	FCD500	樹脂系塗料塗装
③	受枠	FCD500	樹脂系塗料塗装
④	ゴムパッキン	クロロプレン	—
⑤	取手キャップ	SUS304	—
⑥	六角穴付ボルト	SUS304	4-M10×30

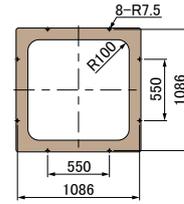
●蓋と受枠に横方向の水抜き孔があります。



水抜き孔 8ヶ所-15×12 受枠(側面下側)
水抜き孔 8ヶ所-10×12 蓋(側面下側)



●アンカーボルト位置寸法



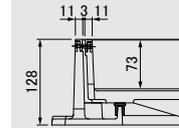
●表示マーク



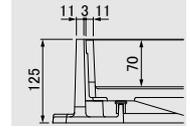
用途表示のため表示板を用意しております。詳細は2-1-8ページ参照。

●目地寸法

MTIB-20SL

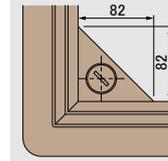


MTIB-20L

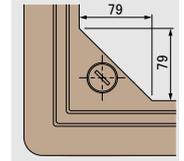


●取手部寸法

MTIB-20SL



MTIB-20L



MTIB-Lシリーズ 鋳鉄目地

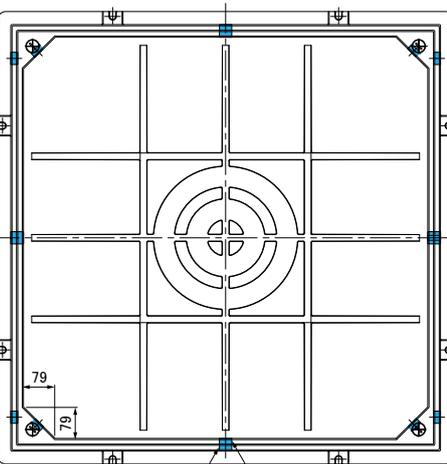
MTIB-20L T-20ランクC T-25ランクC

- 質量
1組質量:217.2kg
仕上材充填蓋質量:約293.2kg

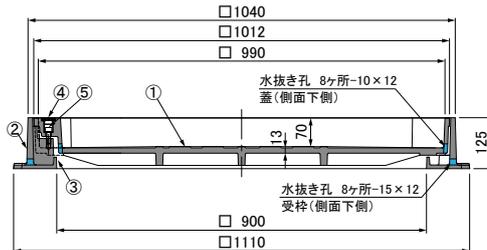


●部品表(鋳鉄目地)

No.	部品名	材質	備考
①	カバー	FCD500	樹脂系塗料塗装
②	受枠	FCD500	樹脂系塗料塗装
③	ゴムパッキン	クロロプレン	—
④	取手キャップ	SUS304	—
⑤	六角穴付ボルト	SUS304	4-M10×30



水抜き孔 8ヶ所-15×12 受枠(側面下側)
水抜き孔 8ヶ所-10×12 蓋(側面下側)



●特長

パッキンの当たり面を機械加工することにより防水効果を高めています。

●備考

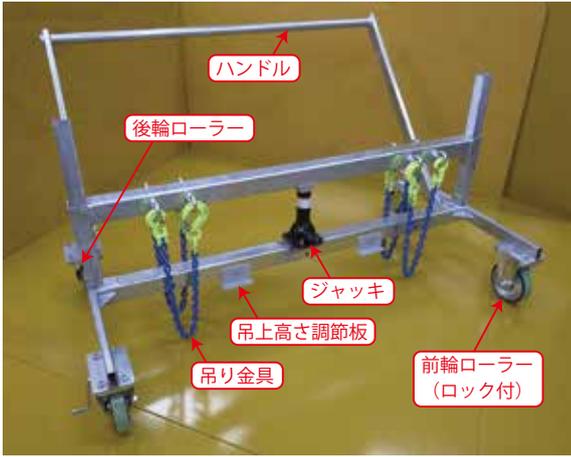
- 1.専用開閉機(MF-63A)での開閉を推奨します。
- 2.機能区分は2-1-5ページ、荷重区分は2-1-6ページ。

●注意

- 1.受枠をアンカーボルトで直接躯体に固定する場合はスパナ等で強く締め付けしないでください。
- 2.蓋と受枠に水抜き孔があります。仕上材・下地材等がこの孔から流れないように不織布等の設置をお願いします。また、受枠を固定の際モルタル等で水抜き孔を塞いでしまいますと、水抜き孔が機能なくなりますのでご注意ください。



※イメージ写真になります。開閉作業時は開閉機から離れないでください。



●使用上の注意点

- 1.使用前に開閉機の点検を実施してください。ボルト・ナット等に緩みがないか確認をしてください。緩んでいた場合は締め直してください。変形・腐食の有無、泥・砂等の付着など異常が確認された場合は使用を中止し、異常部分の部品交換補修等を実施してください。
- 2.開閉機を移動するとき以外はタイヤをロックしてください。
- 3.開閉機を移動する際は周りの安全に十分に注意して移動させてください。
- 4.開閉機の最大使用荷重は350kgfになります。使用荷重以上の製品には使用しないでください。
- 5.ジャッキアップ中の開閉機に手、足、その他のものをいれないでください。
- 6.ジャッキアップ中の化粧蓋の下に手、足、その他のものをいれないでください。
- 7.化粧蓋を長時間開けておく場合は、化粧蓋はジャッキアップした状態で放置せずに一度化粧蓋を下ろしてください。



YouTube 開閉手順↓
<https://www.youtube.com/watch?v=msiAibf6NaE>



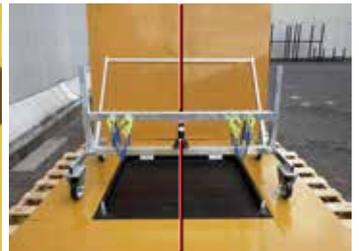
1 開閉鍵【MF-44】のマイナス部分を使用し取手キャップを取り外します。



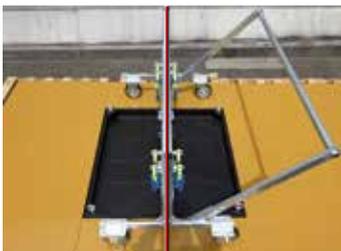
2 開閉鍵【MF-44】の六角部分を使用し取手ボックス内の六角穴付ボルトを4ヶ所全て緩めます。



3 専用アイボルトを取手ボックスにねじ込んでください。



4 開閉機を化粧蓋の上に移動します。この時開閉機のセンターと化粧蓋のセンターを合わせてください。



5 前後方向についても開閉機と化粧蓋のセンターを合わせてください。開閉機の位置が決まったらローラーをロックしてください。



6 吊り金具のクサリ長さを調整してください。クサリコマ数は赤矢印方向に数えて24コマになります。



7 スリングフックを専用アイボルトに掛けます。スリングフックがアイボルトに掛かりにくい場合は、クサリの長さを再度調整してください。



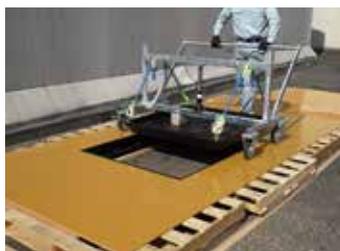
8 吊り金具の取付け・調整が完了しましたら再度クサリの掛かり及びローラーのロックがかかっているか確認してください。



9 ハンドルを回してジャッキアップしていきます。



10 仕上材が吊上高さ調整板に当たり、蓋がぐらつかなくなるまでジャッキアップしてください。



11 蓋が持ち上がったら、ローラーのロックを解除し、開閉機をゆくりと移動させてください。



12 移動が完了しましたら、前輪のローラーをロックしてください。長時間蓋を開ける場合は、移動後に一度化粧蓋を降ろしてください。

★化粧蓋を閉める際は、開けた時と逆の手順で作業を実施してください。